

はこだて根崎地区昆布の森推進プロジェクト

函館市は昆布の生産量「全国一」を誇り、根崎地区の沿岸は白口浜、黒口浜と並ぶ本場折浜として古くから昆布漁が盛んな地域である。
また、暖流と寒流の混合海域である津軽海峡に面し、暖流系、寒流系の両方の多様な海藻類が確認される貴重な地域である。

漁業者が中心となり約50年もの間、藻場保全の取り組みが続けられている。



海洋環境の急激な変化

燃油価格や資材の高騰

漁業者が守り続けてきた
天然藻場の危機

漁業者の高齢化
担い手不足



3つの施策で持続可能な漁業モデルを創出

1

養殖昆布によって得られるブルーカー
ボンをクレジットとして売却し、藻場
再生、保全活動の原資とする。

2

水中ドローンや画像解析など最新のテ
クノロジーを用いて藻場保全活動の効
果を可視化する。

3

地域の子供たちとの交流を深め、海藻
を知る機会を創出し、地域を担う人材
を育成する。

